

編集後記

2024年の「今年の漢字」は「金」でした。裏金問題や金銭目当ての闇バイト強盗事件など、陰のイメージもありますが、一方でパリオリンピック・パラリンピックにおいて多くのアスリートが数多くの金メダルを獲得したこと、佐渡金山の世界文化遺産登録など、陽のイメージからも選ばれているようです。

建設業における「金」といえば、やはり収入のことかと思えます。建設業は「人手不足の解消」「優秀な人材の確保」などを理由に、全業界と比較して高い平均年収となっています。昨年からは時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、働き方改革が進んでいます。建設業が魅力ある産業として、変革していくことを切に願います。

さて、今回は記念すべき第900号となりました。前回800号から8年4ヶ月を経ての到達です。この間に年号は平成から令和へと変わり、誌名は「建設機械施工」と名を変えま

したが、「建設業界における時代の要請にピントを合わせたホットな情報を提供する」という方針は変わりなく、大台の1,000号を目指し、今後も会員の皆様に役立つ誌面作りを続けていきます。

特集技術報文は「土工事」がテーマです。大規模土工の工事事例や、情報化技術を駆使した事例など、興味深い報文を幅広く紹介しています。

また、900号記念寄稿として、過去の編集に携わった方々に思い出を語って頂きました。合わせて、「記憶に残る工事」と題して日本の大プロジェクトに関する過去の報文を再掲載させて頂きました。どれも読み応えのある素晴らしい報文です。

これらの情報を共有することで、本誌が安全・安心な社会基盤を構築することの一助になれば幸いです。「金」のように明るく輝く建設業界を祈念します。

最後になりますが、年末の多忙なおり、突然のお願いにも関わらず快く原稿執筆をお引き受け頂いた皆様に、改めて心より感謝申し上げます。
(副島・佐藤)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司 加納研之助
後藤 勇 新開 節治
関 克己 田中 康之
田中 康順 中岡 智信
渡邊 和夫 見波 潔

編集委員長

中野 正則 日本ファブテック(株)

編集委員

吉田 真人 国土交通省
大津 太郎 農林水産省
内海 友介 (独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹 (一社)日本機械土工協会
丹 秀男 鹿島建設(株)
赤坂 茂 大成建設(株)
藤井 攻 清水建設(株)
桐山 茂雄 (株)大林組
出口 明 (株)竹中工務店
宮川 克己 (株)熊谷組
松本 清志 (株)奥村組
京免 継彦 佐藤工業(株)
加取 新 鉄建建設(株)
副島 幸也 (株)安藤・間
松澤 享 五洋建設(株)
那須野陽平 東亜建設工業(株)
佐藤 裕 日本国土開発(株)
丑久保吾郎 (株)NIPPO
室谷 泰輔 コマツ
山本 茂太 キャタピラー ジャパン
花川 和吉 日立建機(株)
丹治 雅人 コベルコ建機(株)
漆戸 秀行 住友建機(株)
大竹 博文 (株)加藤製作所
田島 良一 古河ロックドリル(株)
鈴木 健之 施工技術総合研究所

事務局

(一社) 日本建設機械施工協会

3月号「鉄道建設技術、保線・保全技術特集」予告

・鉄道分野のカーボンニュートラルに向けた施策 ・最後の渋谷駅線路切替工事が完了 ・大幅な工程短縮を実現した上路SRC桁(H鋼埋込桁)の施工 ・調査坑の施工情報を活用し断層破砕帯を掘削 ・列車巡視の効率化と品質向上を目的としたスマート動揺判定アプリ ・線路設備の点検・検査の自動化と現場適用 ・鉄道・運輸機構 建設DXビジョンロードマップ ・換気設備遠隔監視システム導入によるCBM保守 ・革新的IoT無線「UNISONet」が建設現場やインフラ保全を変える ・「てんかく忍者」～目視点検現場に忍者の目！効率・安全性の向上～
・鉄道向け3次元計測技術サービスの紹介 ・ドア制御の課題を一新した新機軸の無線式ホームドア連携システムの紹介 ・車載式自動スロープ装置「スマートランプ」の開発 ・線路内に設備を追加せずに自動化レベルGOA2.5を長野電鉄と実現

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 10,032円(税・送料込)

建設機械施工

第77巻第2号(2025年2月号)(通巻900号)

Vol.77 No.2 February 2025

2025(令和7)年2月20日印刷

2025(令和7)年2月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話 (022) 222-3915
北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支 部 〒460-0003 名古屋市中区錦 3-7-9	電話 (052) 962-2394
関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中